

ルールに対する意見のまとめ

ルールの見直しについて、下表のような意見がありました。4グループ共通で『子どもの遊びを過度に制限することなく、近隣住民への配慮とのバランスを図ることが重要である』との意見が出されました。

公園ルール全体について

『子どもの自由な遊び』と『近隣住民への配慮』を両立させる

ボール遊びについて

- ・現状のボール遊びルールは変えない
- ・現状利用を踏まえ、ルールの見直しが必要である
- ・ゴルフの練習は禁止した方がよい
- ・一部道具を用いた素振りを禁止した方がよい

ルール看板について

- ・誰が見ても分かりやすい表記にする
- ・公園内でのトラブル対応窓口をつくり、看板に連絡先を掲示する

ルールの周知について

- ・ルールを利用者に知ってもらう
- ・子どもの意識を変える必要がある
- ・公園を見守る人をつくる

自転車の駐輪について

- ・駐輪スペースを分かりやすく明記する

乗り物遊びについて

- ・他利用者との衝突の危険性がある
- ・エリアを分けて利用可能とする

第2回丸山公園ルールづくり ワークショップ参加者募集中！

開催日時 **10月3日(土)**
10:00～(2時間程度)

開催場所 **野方区民活動センター分室**
(中野区丸山二丁目24番1-109号)

参加条件 **中野区在住**

内容 **・実際に公園で試してみたい遊び方・使い方
について話し合う など**

申込みは二次元コードや区のHP、お電話で受け付けています。
野方区民活動センター分室では用紙で受付可能です。

※希望者多数の場合は、人数を調整させていただきます。

【お問合せ】 (注)参加申込〆切:9月23日(水)

中野区 公園課 公園マネジメント推進係

電話 03-3228-2774



申込みはこちら！

丸山公園 ルールづくりニュース

発行：中野区 公園課
公園マネジメント推進係
発行日：令和8年9月

〇ごあいさつ

区では、開園から40年以上が経過し、求められる機能や役割も変化した丸山公園について、地域の皆様の意見を聴きながら魅力ある公園づくりを進めています。

今年度は、遊び方・使い方などのルールについて、ワークショップ(話し合いの場)で、提案を聴き、提案ルールを実際に試し、地域の皆様とより良いルールの実現を考えていきます。

お問合せ：中野区 都市基盤部
公園課 公園マネジメント推進係
電話 03-3228-2774

これまでの丸山公園の
取り組みの詳細は
こちらから



第1回丸山公園ルールづくり ワークショップを開催しました！

7月25日(土)に、地域みなさんと一緒に「丸山公園をもっとよい場所にするためのルール」を考えるワークショップを開催しました。ワークショップには、周辺住民の方など25名の方にご参加いただきました。

今回は、4つのグループにわかれ、丸山公園の現状の使われ方・遊び方や、見直しが必要となるルールについて話し合いを行いました。最後にはグループごとに意見を発表していただき、全体共有を行いました。

ワークショップの結果詳細は次のページからご覧ください。



ワークショップの様子



グループ成果の一例

現状利用マップ

- ・入口が小さい
- ・ゴミが多い
- ・ゴミが散らばっていて自転車が止められない
- ・自転車置き場が使われていない、見づらい
- ・区外から来る人はルールがわかりにくい
- ・犬のうんちがある

- ・プール内に中学・高校生くらいの人が入って寝ていた
- ・プール日当たりが良すぎて暑い
- ・水遊び（夏場）
- ・トイレが汚い、和式だけで大変
- ・トイレの屋根の上に登っている子どもがいる

- ・ママさんグループ・家族でレジャーシートを敷いてランチ
- ・朝、高齢の方がお話をしている
- ・塾帰りにお菓子を食べる
- ・砂場あたりでおにごっこをしている
- ・おにごっこで道路に飛び出すこともある
- ・自転車が置かれている（細い道・砂場近く）
- ・遊び利用する近くに自転車がおかれている
- ・携帯ゲームをする
- ・冊やパーゴラに登っている
- ・人工芝は子どもの荷物置き場として利用されていることが多い
- ・夕方、高校生がお話をしている
- ・花火
- ・公園からの枯葉がたくさん落ちて掃除が大変である（公園まわりの掃除もお願いしたい）
- ・照明が少なく、夜は暗く危険である

- ・入口が少ない、狭い
- ・隣の広場でボール遊びをしている人がいる

その他

- ・保育園の子どもたちの運動会は今後も続けて欲しい
- ・花が咲く樹種が少ない。桜などを増やしてほしい
- ・バリアフリートイレの設置をしてほしい
- ・多目的広場をもっと活用できたらいい
- ・行事用の電源があるといい
- ・冊が壊れている（広場あたり）
- ・遊具が熱くて、早朝・夕方しか遊べない
- ・防災から考えた公園の在り方

見直しが必要なルール

〔ボール遊びについて〕

- ・近隣住民に配慮のない壁当てなど
- ・禁止にはしないが、ルールをもっと考えていく必要がある
- ・危険な遊び・ゴルフなど
- ・ルールや条件をつけることを検討
- ・隣接地にボールが入らない工夫
- ・ゴルフボールは使用禁止の方がいい
- ・ゴルフのクラブ・野球のバット（金属性の道具）は、素振りのみなど
- ・子どもの意識（サッカーなどのボール遊びで、危険な遊び方についての意識をもってもらいたい）

〔ルールの周知方法など〕

- ・子どもに直接ではなく家庭内での周知
- ・どうやってルールを知ってもらうか、守ってもらうかを考える必要がある
- ・公園内におくルール看板の内容を考える必要がある（対応窓口の連絡先の掲示・イラストで分かりやすく・外国語対応など）

〔その他〕

- ・夜間の公園利用
- ・犬を連れた立入り
- ・ゴミの放置
- ・駐輪スペース
- ・乗り物遊び（利用者と衝突すると危険）
- ・エリア分けによるルールの緩和
- ・花火のルール

- ・おにごっこして走り回っている
- ・夜間子ども達が話したりしている声が聞こえる
- ・サッカー（平日午後）、野球（親子）しているのもみられる
- ・野球、サッカーで砂埃がすごい時がある
- ・防災倉庫にサッカーボールを当てている（防災倉庫をゴールにしている）
- ・フェンスにボールがぶつかりうるさい（夜に聞こえることもある）
- ・朝早くのキャッチボールは音が響く
- ・アパートの壁にボールをぶつけられる
- ・距離の長いキャッチボールをしている人もいる
- ・キャッチボール等をしていて通り抜けしづらい
- ・防災倉庫の上に子どもがのっている
- ・ゴルフ素振りや練習をしている人がいる
- ・たばこを吸っている人がいる
- ・男性がストレッチ
- ・保育園運動会
- ・保育園児が午前中遊びに来る
- ・高齢の方が杖をもって散歩
- ・ゴミが捨てられている
- ・休むところが少ない
- ・車椅子の方が散歩
- ・サラリーマンがごはん食べられる
- ・カラスの巣ができることがある